

重点(1)一人一人の教育的ニーズに基づいた指導や支援の充実に向けた取組

校内研修を充実するために

ミニ研修で定期的に事例研修をしませんか？

【留萌市立東光小学校】

- 各学期に3～5回、生徒指導部との連携等によって子どもの実態や特性に応じた指導や支援の在り方を協議する事例研修会を実施しました。



【教員の声】

- 他の先生方の考え方や支援の工夫を知ることができました。
- 指導の悩みを出し合うことで、日常的に相談しやすい雰囲気になりました。

子どものよさをみんなで見付けませんか？

【初山別村立初山別中学校】

- 校内研修プログラムを基に作成した「自分理解シート」で、全教職員が自分自身の特性の理解を体験し、特性に応じた指導や支援の意義、方法を改めて確認しました。



【教員の声】

- 複数の目で子どもを見ることで、新たなよさを見付けられました。
- 子どものよさを生かした支援を一層充実することができました。

専門的なアドバイスをもらいませんか？

【羽幌町立天売小中学校】

- 7月の「生徒指導研修会」に管内専門家チーム委員を招き、専門的な視点から子どもの支援について研修を深めました。
- 研修後、助言を基に個別の教育支援計画を作成して指導や支援を行い、その様子を12月に交流しました。



【教員の声】

- 具体的なアドバイスを参考に、日常の指導や支援を改善できました。
- 個別の教育支援計画の活用により、家庭との連携も充実しました。



校内の教職員が誰でも一貫した指導や支援ができるよう、子どもの実態や、特性に応じた指導や支援について、学校全体で共通理解を図ることが大切です。

重点(2)「個別の教育支援計画」等の活用による校種間の引継ぎの更なる充実に向けた取組 家庭との連携を充実するために

個別の教育支援計画を日常的に活用しませんか？

【苫前町立古丹別小学校】

- 個別の教育支援計画(つなが一留(様式7))を次のように作成・活用しました。
 - ①保護者と面談等をとおして作成
 - ②計画を学校と保護者が1部ずつ所持
 - ③次の面談で目標の達成状況を確認
- 通常の学級に在籍する子どもについては、事例研修会の資料として個別の教育支援計画を作成するなど、効率よく作成する工夫をし、保護者との連携や引継ぎを充実できるようにしました。



【保護者の声】

- 学校と家庭で、子どもが困らず生活できる方法や子どもの成長を共通理解できました。
- 個別の教育支援計画に書いている内容への理解が深まりました。
- 進級、進学をしても、同じ支援をしてもらえるようになりました。

関係機関との連携を充実するために

町全体で子どもの成長を支えませんか？

【天塩町】

- 町の福祉課、教育委員会、発達支援センター、教員、保健師等が定例で集まり、子どもたちの支援について協議しました。
- 乳幼児健診の際、保健師が発達支援センター利用の相談窓口となり、保護者と早期から連携を図りました。
- 母子手帳とともに配布する天塩町子ども応援ファイル「てとて」を就学時の引継ぎや就学後の学校と家庭との連携に活用できるようにしました。



【保健師の声】

- 就学後も関わりをもち、幼児期の支援の方法を学校の指導で生かしてもらうことができました。

【教員の声】

- 様々な立場の方々との協議により、新たな視点で子どもへの支援を工夫することができました。

進学、進級、就職など、環境が変わっても一貫した支援ができるよう、「個別の教育支援計画」等を活用し、引継ぎを充実することが大切です。

